訃　報

日本獣医師会前会長　山根義久先生の逝去を悼んで

第11代日本獣医師会会長として，平成17年から平成25年まで4期8年間に亘り務められ，本会の発展に尽力されるとともに，わが国の獣医界において指導的な役割を果たされた山根義久先生におかれましては，令和7年1月7日午前8時9分に81歳の生涯を終えられました．葬儀は先生の地元である鳥取県倉吉市にて，1月10日にお通夜が，翌11日に告別式がしめやかに執り行われました．

医学博士と獣医学博士の学位を持つ山根先生は，いち早く体外循環装置を用いた開心術に取り組むなど，臨床分野で多大な功績を残されました．日本獣医師会の学会活動においても，昭和62年から平成2年まで日本臨床獣医学会副会長，平成2年から5年まで日本小動物獣医学会副会長，その後同学会理事を経て平成8年から平成14年まで同学会会長を務められました．一方で，日本獣医師会が設置した獣医学術奨励賞選考委員会委員，学会改善検討委員会委員，教育研究部会委員会委員，学術・教育・研究委員会委員など，獣医学術の発展に向けた数々の検討に参画されました．

日本獣医師会会長就任後は，獣医学教育の改善・充実をはじめとする学術・教育・研究分野はもとより，愛玩動物看護師の国家資格制度化に向けた活動，世界獣医師会が提唱するWorld Veterinary Dayの日本における取組である動物感謝デーの開始，今日のワンヘルスの取組につながる日本獣医師会活動指針「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」の制定など，獣医療の発展と獣医師の役割の普及に尽力されました．また，政府関係委員として獣医事審議会委員（計画部会長），口蹄疫対策検証委員会座長，獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議協力者などを歴任され，指導力を発揮されました．

人生で大切なのものは，夢（Roman）と情熱（Passion），そして冒険（Adventure）と語られていた山根先生の在りし日のお姿を偲びつつ，改めて心からのご冥福をお祈り申し上げます．